

# 地方創生支援事業費補助金（地方と東京圏の大学生対流促進事業）の 補助対象事業の決定（2019年度第1回）について

令和元年6月11日  
内閣府地方創生推進室

地方創生支援事業費補助金（地方と東京圏の大学生対流促進事業）の補助対象事業について、以下のとおり決定した。

## 1. 趣旨

「まち・ひと・しごと創生総合戦略（2018改訂版）」にて、「地方大学と東京圏の大学の単位互換等により学生が地方圏と東京圏を相互に対流・交流する取組を促進する」とされており、内閣府において「地方と東京圏の大学生対流促進事業」を実施し、事業に取り組む大学を補助金により支援する。

## 2. 採択事業

プロジェクトの実施基盤、目標、教育内容、学生への支援、協働体制の連携など事前に示している評価項目に則り、外部有識者の審査を経て、以下の2事業（事業内容は別紙）について採択を行った。

※平成30年度に6事業（平成30年6月に5事業、平成30年11月に1事業）の採択を行っており、今回とあわせて計8事業を採択している。

（50音順）

申請大学	協働大学
京都文教大学	淑徳大学、埼玉工業大学
山形大学	神奈川大学

(別紙)

## 採択事業の概要について

事業名	産官学民「ともいき学習」による持続可能な地域社会創造人材育成
責任大学名/連携大学名	京都文教大学 / 淑徳大学 埼玉工業大学
交付決定額	7,260 千円 (2019 年度)
事業概要	京都府宇治市に本拠を置く京都文教大学が、東京圏の淑徳大学、埼玉工業大学と単位互換やカリキュラム開発などで協働し、産官学民パートナー型ネットワークを生かし、地域間格差を抱える京都府全域をフィールドに、PBL やインターンシップ、地域連携学生プロジェクトなどによる「対流型ともいき学習」を展開する。京都府や府内自治体の他、商工会議所、中小企業家同友会などの経済界、高齢者グループや地域 NPO とも連携し、地域の多様な主体との関わりで、地域個性や課題の複雑さに触れ、「学ぶ」「働く」「暮らす」が繋がってこそ実現する持続可能な地域社会を創造できる人材を育成する。

事業名	山形↔神奈川 襷でつなぐ未来人材育成プロジェクト
責任大学名/連携大学名	山形大学 / 神奈川大学
交付決定額	13,000 千円 (2019 年度)
事業概要	教育・研究の連携により双方の機能強化を図っている山形大学と神奈川大学が、Uターン、Iターンによる山形県内への若者の就職者増加を目的として、地域の理解と興味・関心を高める事業を実施する。 神奈川大学の学生には、初年次での地域密着型フィールドワークやキャリア教育としてのインターンシップを経験させ、2～3年次では「都市計画」や「地域再生」の授業を通し、地域の魅力を発見してもらう。さらに、3年後期から4年前期にかけて長期プログラムでは、神奈川大生が卒業研究に必要な調査・実験等について、山形大学の教員から指導・助言を受けることを可能とし、山形の地で学業を継続しつつ山形での就職活動を可能とする。